

施策評価シート【重点施策】

個別施策 - (2)

多様な担い手が活躍する機会をつくる

基本的な方向性

起業家に対して、創業から経営安定に至る一連の取組を充実させます。また、各産業の担い手に対して、本市の持つネットワークを活かし関係機関と連携の充実を図りながら、中小企業の販路拡大や経営革新、事業承継などの様々な経営課題への支援や先端技術を活用した取組等を進めることで事業展開ができる環境を拡充します。さらに、新規成長分野に取り組む事業者に対して、知的交流を通じたイノベーション等の誘発を図ることで、地域経済の活性化につなげるほか、多様な就労機会の拡充を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
創業支援件数【年間】	件	206	128				212
新たな農の担い手数 【累計】	人	49	67				89

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

「起業家や担い手（農業者・中心市街地活性化等）の育成支援」
起業に当たっての情報提供や講習会を開催したほか、事業計画が策定段階の方に対して、専門家を派遣することで円滑な事業立ち上げを支援しました。また、農業においては、新規就農者への支援を始め、認定農業者等にスマート農業の導入を支援するなど、農業経営の効率化を促進しました。さらに、金融機関や学生などの平塚まちなか活性化隊会議への参加など、まちづくりの担い手を繋ぐネットワークの構築を図りました。

「中小企業者に対する販路開拓の支援や融資・経営改善の相談」
円滑な資金繰りを支援するため、金融総合案内窓口の開設および市制度融資を実施したほか、神奈川産業振興センターと連携し、定期的に経営に関する相談会を開催することで、経営課題の解決を支援しました。

「円滑な事業承継の促進」
事業承継を啓発するためのセミナーや後継者を対象とした講習会を開催することで事業承継の必要性等を啓発しました。また、具体的な取組に対しては、事業承継に特化した専門家を派遣することで、円滑な事業承継を促進しました。

「「知」の集積と活用による知的対流の可視化」

平塚波力発電所の海域実証について、オンライン記者発表や再生可能エネルギー世界展示でのプレゼンテーション、海洋白書 2021 への寄稿、SDGs 官民連携プラットフォームマッチングイベントへの参加等、様々な機会を通じて広く発信することで、知的対流の可視化に取り組みました。

「多様な就労機会の支援」

企業合同就職面接会において、就職氷河期世代を積極採用する事業所が優先的に参加できるようにすることで、多様な人材を採用する企業を支援しました。

就労に関する相談、訓練、職場開拓、定着支援を行うひらつか就労援助センターに助成を行い、障がい者の就労や職場への定着を支援しました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>「起業家や担い手（農業者・中心市街地活性化等）の育成支援」</p> <p>起業希望者の掘り起こし及び副業や合併買収など M&A での創業等、手法の多様化への対応が必要です。農業においては、より多くの新たな担い手の確保に努め、認定農業者への誘導を図り、経営強化を進めるとともに、県下トップの稲作を維持するために、ライスセンターの新設や強化を早急に進めていく必要があります。さらに中心市街地活性化の担い手への情報提供とともに、担い手が求める支援の把握が必要です。</p>	<p>「起業家や担い手（農業者・中心市街地活性化等）の育成支援」</p> <p>創業支援等事業計画の関係機関と連携し、掘り起こしから創業後の経営支援まで行います。また、農業においては、スマート農業の導入による農業経営の効率化を進め、「カッコいい、稼げる、感動する」農業の実現と PR を行うことで、本市への就農を促進するとともに、JA 湘南と連携して、新たなライスセンターの創出に向けた地域との調整に着手します。さらに、中心市街地の担い手の活動拠点であるまちなかベース「きちきち」を活用したチャレンジショップや金融機関などと連携した販路拡大など、担い手の状況に合わせた取組により支援していきます。</p>
<p>「中小企業者に対する販路開拓の支援や融資・経営改善の相談」</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、業績の悪化が継続した事業者は、資金繰りに窮する（条件変更や経営改善の策定等）ことが予測されます。</p>	<p>「中小企業者に対する販路開拓の支援や融資・経営改善の相談」</p> <p>市制度融資により資金繰りを支援するとともに、セミナーや相談会等により事業者の課題の解決を支援します。</p>

「円滑な事業承継の促進」

新型コロナウイルス感染症の影響により、今後休廃業の増加が見込まれるため、小規模な合併買収など M&A の促進等、雇用や経済を維持する取り組みが必要です。

「「知」の集積と活用による知的対流の可視化」

企業等の技術開発などには、知的財産の保護や守秘義務等があるため、知的対流として可視化できるようになるまでにある程度の時間がかかります。

「多様な就労機会の支援」

多様な求職者を支援するため、対象者ごとに周知や実施の方法を工夫することが必要です。

障がい者の就労や職場への定着に向け、ひらつか就労援助センターの支援を引き続き充実させていく必要があります。また、中小企業と福祉事業所をつなぐ事業をコロナ危機に対応させていく必要があります。

「円滑な事業承継の促進」

事業承継を啓発するためのセミナーのほか、金融機関や県引継ぎ支援センター等の関係機関と連携し、第3者への承継も見据えて取り組んでいきます。

「「知」の集積と活用による知的対流の可視化」

他社や大学等が持つ技術やアイデアを組み合わせて革新的な製品開発等に繋げる「オープンイノベーション」について研究し、早い段階で可視化できる手法を検討します。

「多様な就労機会の支援」

多様な就労機会の創出を図るため、関係機関と連携して情報収集に努めるとともに、必要とされる情報の発信や事業の実施を行います。

ひらつか就労支援センターとハローワーク平塚等の関係機関との連携強化を進めます。中小企業と福祉事業所をつなぐ事業では、ITの活用を検討します。

関連する【取組】と（事業）

【次世代の産業の担い手となる起業家の育成】（起業家支援事業）（中小企業金融支援事業）

【農業の多様な担い手の育成支援や地域農業の活性化支援】（担い手総合対策事業）

【中心市街地の活性化のための担い手の育成支援】（商店街にぎわい創出事業）（中心市街地活性化推進事業）

【中小企業の経営課題解決の支援】（中小企業経営支援事業）（産業間連携促進事業）

【中小企業に対する資金面での支援】（中小企業経営支援事業）（中小企業金融支援事業）

【企業や大学の有する情報や知識の結合を促すことによるイノベーションの誘発】（産学共同研究支援事業）（波力発電関連分野での新産業創出促進事業）（知的対流推進事業）

【多様な就労機会の支援】（就労支援事業）（障がい者ワークステーション事業）（障がい者就労促進事業）

